



## 音楽を通してふれる「鉱石の道」

南但馬にある鉱山関連の近代化遺産を活用した地域活性化プロジェクト「鉱石の道」を盛り上げることを目的に、鉱山にかかわりの深い歌などを集めて披露する音楽祭（主催／同実行委員会等）が3月2日、県立但馬長寿の郷で開催されました。今回は、地元住民や音楽愛好家が約20曲を披露。音楽愛好家グループのサークル・ポップの皆さんが、「一円電車の唄」をメロデーにのせて歌い、

明延区の皆さんは明延音頭を輪になって踊りました。会場には、歌の詩集や明延鉱山に関する資料などが展示されるとともに、来場者には、但馬各地の鉱山の位置を示した「但馬の鉱山跡ミニマップ」などが配られました。



## 手に汗握るロボットサッカー

自分たちの作ったロボットによるサッカー競技大会「ロボカップジュニア2008北近畿ノード大会IN養父市」が3月2日、養父体育館で開かれました。同大会は、科学技術への興味と関心を持つてもらおうと平成16年度から実施しており、今回は市内外から過去最多の22チーム46人が参加しました。競技は縦1・8メートル、横1・2メートルのコートで行われ、ロボットに内蔵されたセンサーが、ボールの発する赤外線を感じて動き、相手のゴールにボールを多く入れたチームが勝利するものです。

熱戦の結果、才木天斗君（八鹿中学校2年）と中村祐太君（新温泉町立夢が丘中学校2年）のチーム「GEAR」が優勝しました。



ロボットの動きを見守る子どもたち

## 卒業記念に八重桜を植樹

3月4日、八鹿小学校（宇和野修介校長）の6年生52人が、ショッピングタウンペア前のバスロータリーに卒業記念の八重桜の苗木（約3歳）を植樹しました。これは、八鹿町中心市街地活性化推進協議会（守本達雄会長）が、街中を花でいっぱいになろうと企画し、同小学校に協力を求めて実現したものです。

児童は、スコップで穴を掘り、力を合わせて八重桜の苗木3本を植樹。その後、宇和野校長と豊岡市但東町出身の教育者で同小の元校長・東井義雄氏のメッセージを書いたパネルが除幕されました。

式典後、児童会長の竹藤遼君は「桜のように大きく成長し、たくさんの人の心を温かくできるような人になりたいです」とあいさつしました。



◀力を合わせて八重桜を植樹する卒業生